

機械器具 38 医療用鉤
一般医療機器 鉤 35105000

鶴丸扁平鉤

【警告】

- ・本品に電気メス先を直接接触させて使用しないこと。[感電、火傷または本品への損傷の原因になる]
- ・本品の洗浄の際は、目の粗い磨き粉や金属ウールなどで器具の表面を磨かないこと。[本品の表面に擦過傷を生じ、錆や腐食の原因になる]
- ・酸やアルカリの強い洗剤の使用は避けること。[腐食の原因になる]
- ・本品を曲げる、切削・打刻等の二次的加工(改造)は絶対に行わないこと。[破損等の原因になるばかりではなく組織損傷もつながる]

【禁忌・禁止】

- ・破損、欠損等がある時は使用しないこと。[組織の損傷の原因になる]

【形状・構造および原理等】

<材料>

ステンレス鋼 (SUS304, 420J2)

<形状、構造>



<原理>

先端の鉤部を術野に差し入れ、組織等の挙上又は手術操作を行うための空間を確保する。

【使用目的又は効果】

軸様のハンドルをもつ手術器具で、遠位端に向かって先細になっており、創口、術部を覆う組織、筋肉などを広げるために用いる。

【使用方法等】

1. 使用前に必ず洗浄・滅菌する。また傷や亀裂、曲がり、先端部の損傷等の異常がないことを確認する。
2. 本品のハンドル部を手に持ち、遠位端で手術部周辺の器官や組織を圧排、挙上又は手術操作を行うための空間を確保する。
3. 使用後は、本品に傷や亀裂、曲がり、先端部の損傷等の異常がないことを確認する。また付着している血液、体液、組織および薬品等が乾燥・固化しないうちに、速やかに洗浄・滅菌し、次の使用に備えて適切に保管する。

【使用上の注意】

1. 本品は未滅菌品であるため、使用前に必ず洗浄・滅菌を行うこと。[感染の原因になる]
2. 本品を使用しない時は、術野に置かないこと。電気手術器等使用時に思わぬ接触で組織損傷につながる可能性がある。
3. 滅菌器等で過熱されている時は使用しないこと。
4. 使用後は汚れが付着したまま放置せず、直ちに洗浄すること。洗浄剤は必ず医療用洗剤を使用すること。[使用後に血液等を付着したまま放置したり、指定外の洗剤を使用すると器具を腐食させる原因になる。]

【保管方法及び有効期間等】

1. 本品は高温・高湿を避け、塵やほこりのない清潔な場所に保管すること。また、水漏れや直射日光は絶対に避けること。
2. 有効期間に関しては使用環境、管理状況により劣化の状況が変わるので、限定できない。

【保守・点検に係る事項】

1. 本品を安全により長くご使用いただくために日常点検及び使用前点検等は、必ず行うこと。
2. 本品の洗浄・滅菌方法は下記の事項に注意し、院内の規定に従うこと。

<洗浄>

- 1) 本品は使用の度に洗浄すること。
- 2) 使用後は速やかに洗浄すること。
- 3) 材質の異なる器具とは一緒に洗浄しないこと。
- 4) 洗浄後に汚れが残った状態での消毒、滅菌はしないこと。
- 5) 洗浄剤は必ず医療用洗剤を使用し、洗浄に使用する水はできるだけ脱塩あるいは蒸留したものを使用する。浸しておく場合は滅菌蒸留水の使用を奨める。
- 6) 洗浄剤の使用に際しては、洗浄剤の添付文書を参照すること。
- 7) 本品が漂白剤、消毒液等の塩素及びヨウ素等を含む溶液にさらされた場合には、直ちに清水で洗浄すること。
- 8) 洗浄後は十分に乾燥させ、湿った状態で必要以上に長時間放置しないこと。
- 9) 洗浄終了後は、必ず滅菌を行うこと。

<滅菌>

- 1) 滅菌はオートクレーブ滅菌、ガス滅菌等の方法で行うこと。各滅菌装置のメーカー指定の使用方法にて滅菌すること。
- 2) 滅菌は、本品が洗浄・消毒され、完全に乾燥状態であることを確認のうえ行うこと。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：株式会社根本杏林堂

** 住 所：埼玉県川口市青木2-12-23

T E L：048-222-3981 (代表)

* 製 造 元：高砂医科工業株式会社 柏工場

* 住 所：千葉県柏市柏インター東5-11, 12, 13

(お問い合わせ先)

販 売 元：株式会社根本杏林堂

住 所：東京都文京区本郷2-27-20

連絡先：03-3818-3541 (代表)